

# 有機則・PRTRに該当しない 洗浄剤の選択について

株式会社 T&K TOKA

## 目次

- 1) ジクロロメタン、1, 2-ジクロロプロパンを含む  
洗浄剤についての、T&K TOKAの対応
- 2) UVインキの洗浄剤について
- 3) IPAを使用しない湿し水について
- 4) インキ工業会の対応について

## ジクロロメタン、1, 2-ジクロロプロパンを含む洗浄剤について

T&K TOKAの状況

- 1) 塩素系溶剤全般について製品としての使用はなし。
- 2) 商品としての販売があり、取扱いを中止した。
- 3) 新規商品採用について、社内チェックを行うこととした。

## 新規取扱い商品について



## ハロゲン化脂肪族炭化水素溶剤 についてのT&KTOKAの対応

	臭素化	塩素化	フッ素化
反応性	非常に高い	高い	低い
商品(洗浄剤)として扱うか	取り扱わない	有機則に準じた対策を要請	難燃性を必要とする用途でのみ取り扱う

## UVインキ用洗浄剤

	アルコール	エステル	芳香族	脂肪族
UVインキ溶解性	○-△	○	○	×
ローラーの膨潤	○	△	△	○-△
法規制	有機則対象が多い	有機則対象が多い	有機則対象が多い PRTR物質対象が多い	

## UV洗浄液D-III

### 特徴

- 1) 自動洗浄使用可能(事前に印刷機メーカーへ確認してください)
- 2) 優れた洗浄性
- 3) 低臭タイプで作業環境配慮
- 4) PRTR法、有機則 非該当

## IPAを使用しない湿し水について

- 1) エタノールを使用する。
- 2) H液を使用し、ノンアルコール印刷を行う。

## アルコール

	水	メタノール	エタノール	IPA	n-プロピルアルコール
炭素数	0	1	2	3	3
化学式	H <sub>2</sub> O	CH <sub>3</sub> OH	C <sub>2</sub> H <sub>5</sub> OH	CH <sub>3</sub> CHCH <sub>3</sub> OH	C <sub>3</sub> H <sub>7</sub> OH
有機則	—	該当	—	該当	—
安衛法管理濃度	—	200ppm	—	200ppm	—
ACGIH	—	200ppm (TWA)	1000ppm (STEL)	200ppm (TWA) 400ppm (STEL)	100ppm (TWA)

## 語句の説明

- \* ACGIH = 米国産業衛生専門家会議
- \* TWA = 通常1日8時間、週40時間での許容値
- \* STEL = 15分間内における平均値が越えてはならない値

## T&K TOKAの製品

	製品名	
湿し水添加剤	ニューファインコール	エタノール主成分
H液	FF-331	連続給UVフォーム専用エッチ液(連続給水装置用)水用
H液	FF-301	UVフォーム専用エッチ液(モルトン方式・スプレー方式用)

## インキ工業会の対応 (NL規制)

\* NL規制

\* 「印刷インキの原材料として使用されることが好ましくないと判断される物質を選定し、その使用を禁止する」



印刷インキ工業連合会

## 適用範囲の見直し

(使用規定より)

次のような場合には表示できない。

4. 明らかにインキ、コーティング剤、インキ用助剤でないもの。

たとえば洗浄剤、湿し水、印刷材料等。

<少なくとも洗浄剤はNL規制対象にすべきとの意見あり>

## 規制物質検討範囲の追加

	NL規制	がん原性
ジクロロメタン	該当	
1, 2-ジクロロプロパン	非該当	該当

## がん原性物質

- 1) 厚生労働大臣は、労働者のがんを起すおそれのある化学物質について、労働者の健康障害を防止するための指針を公表(安衛法28条の3項の規定)
- 2) 現在28物質(うち既にNL規制対象物質である物質が10物質)

< 残りの18物質をNL対象にすべきとの議論があります >

ご静聴ありがとうございました

株式会社 T&K TOKA

UV用ローラー洗浄剤

## UV 洗浄液 D-III

UV 洗浄液 D-IIIは、インキローラー及びブランケットに使用可能なUV用洗浄剤です。優れた洗浄性を有し、色替えや、仕事終了時のローラー及びブランケットの作業性を大幅に向上させます。

### ■ 特 徴

- ▶ 自動洗浄使用可能(事前に印刷機メーカーへ確認してください)
- ▶ 優れた洗浄性
- ▶ 低臭タイプで作業環境配慮
- ▶ PRTR法、有機則 非該当

### ■ 使用 方法

- ▶ インキローラー洗浄:ローラー群の最高部のローラーから順にかけ流しながら洗浄して下さい。
- ▶ ブランケット洗浄:ウエスに適量しみ込ませ、ブランケット全面を 1、2 回拭き、新しいウエスで乾拭きして下さい。

### ■ 使用上の注意

- ▶ UVに対応していないPS版(ポジ、ネガ版)、CTP版及びバーニッシュ処理していない版に用いた場合、画像部を侵すことがありますのでご注意ください。(必ず、ご使用前には確認のために検証してご使用下さい)。



内容量	16kg(一斗缶)
消防法	第4類 第2石油類 (非水溶性液体)
PRTR法	非該当
有機則	非該当

※ご使用前に、必ず製品安全データシート(MSDS)をお読みください。

2011/12/1 NO.W-1

- ▶ 記載のデータは、当社の試験方法による実測値であり、規格値ではありません。ご使用に際しては、貴社使用条件に適合するかを必ずご確認願います。なお、本文中の用途はいかなる特許に抵触しないことを保証するものではありません。
- ▶ 製品改良のため、予告なく内容を変更することがあります。
- ▶ 製品使用の際は、必ず事前に製品安全データシート(MSDS)をご一読願います。

平版印刷用湿し水添加剤

## NEW FINE COHOL (ニュー ファイン コール)

「NEW FINE COHOL(ニュー ファイン コール)」は、アルコール専売法に基いて製造されたエタノールを主剤とした「平版印刷用湿し水」です。環境対応からノンアルコール化が求められていますが、UV印刷や金銀・蛍光など、アルコールを添加することで、より刷り易く、良い仕上がりになります。

IPAの代替として、作業環境測定が不要な「NEW FINE COHOL(ニュー ファイン コール)」をご使用ください。

### ■ 特 徴

- ▶ IPAの代替品として、優れた性能を発揮
- ▶ どのメーカーのH液とも混入可能
- ▶ 労働安全衛生法「第 65 条」作業環境測定 非該当

### ■ 使 用 方 法

- ▶ 併用するH液によりますが、5%以内の添加量にて調整してください。
- ▶ 仕事の内容や、使用するインキ、印刷原反により、添加量を調整してください。

### ■ 使用上の注意

- ▶ 使用前に必ずMSDSをお読みください。



内容量 14kg(一斗缶)  
消防法 第4類 アルコール類  
(水溶性液体)

※ご使用の前に、必ず製品安全データシート(MSDS)をお読みください。

2011/11/25 NO.W-1

- ▶ 記載のデータは、当社の試験方法による実測値であり、規格値ではありません。ご使用に際しては、貴社使用条件に適合するかを必ずご確認ください。なお、本文中の用途はいかなる特許に抵触しないことを保証するものではありません。
- ▶ 製品改良のため、予告なく内容を変更することがあります。
- ▶ 製品使用の際は、必ず事前に製品安全データシート(MSDS)をご一読願います。

UVフォーム印刷用濃縮湿し水

FF - 331

FF-331は、水幅が広く水上がり耐乳化性に優れたUVフォーム印刷専用のノンアルコール可能な濃縮湿し水として開発したものです。

#### 特徴

- ▶ 版面の洗浄効果により印刷時の汚れが解消されて安定した印刷が行えます。
- ▶ 水膜保持性に優れ水量のコントロールが容易です。
- ▶ 労働安全衛生法、有機則に該当する化学物質は使用していません。

#### 使用方法

- ▶ 印刷に最適な濃度は1～2%です。
- ▶ ノンアルコールで使用されることをお勧めします。
- ▶ FF-331の濃度管理には定量添加による管理をお勧めいたしますが、pH管理法による濃度管理も可能です。pHによる管理を行うときは、下記の物性値をご参考下さい。(各地区で水道水の物性値が異なります。pHによる濃度管理を行われる際にはご相談下さい。)

#### <FF-331の物性値>

	1%水道水希釈液	2%水道水希釈液
pH	4.4～4.8	4.0～4.6
導電率(mS/cm)	1.20～1.60	1.80～2.10

#### 使用上の注意

- ▶ 現在使用されているH液とFF-331を混合すると、十分な効果が得られません。
- ▶ 現在使用されているH液と、水上がり量が異なる場合がありますので、はじめに最低印刷給水量を確認してから、印刷を開始してください。
- ▶ 過乳化しやすいためUV減感インキにはお勧めできません。

#### 取扱上の注意

- ▶ 皮膚に触れた場合は、速やかに石鹸と水、または温水で洗い流してください。
- ▶ 目に入った場合は直ちに多量の水で約15分間洗眼し、速やかに医師の診断を受けてください。
- ▶ FF-331は、指定可燃物可燃性液体類に該当します。

2007/07/01 No.W-2

- ▶ 記載のデータは、当社の試験方法による実測値であり、規格値ではありません。ご使用に際しては、貴社使用条件に適合するかを必ずご確認ください。なお、本文中の用途はいかなる特許に抵触しないことを保証するものではありません。
- ▶ 製品改良のため、予告なく内容を変更することがあります。
- ▶ 製品使用の際は、必ず事前に製品安全データシート(MSDS)をご一読願います。

UVフォーム印刷用濃縮湿し水

FF - 301

FF-301は、水幅が広く水上がりと耐乳化性に優れたUVフォーム印刷用のノンアルコール可能な濃縮湿し水として開発したものです。

#### 特徴

- ▶ 画線部の少ないフォーム印刷機上でもインキが過乳化することなく、安定した濃度で印刷が行えます。
- ▶ 水膜保持性に優れ水量のコントロールが容易です。
- ▶ 労働安全衛生法、有機則に該当する化学物質は使用していません。

#### 使用方法

- ▶ 印刷に最適な濃度は1～2%です。
- ▶ ノンアルコールで使用されることをお勧めします。
- ▶ FF-301の濃度管理には定量添加による管理をお勧めいたしますが、pH管理法による濃度管理も可能です。pHによる管理を行うときは、下記の物性値をご参考下さい。(各地区で水道水の物性値が異なります。pHによる濃度管理を行われる際にはご相談下さい。)

#### <FF-301の物性値>

	1%水道水希釈液	2%水道水希釈液
pH	4.4～4.8	4.0～4.6
導電率(mS/cm)	1.20～1.60	1.80～2.10

#### 使用上の注意

- ▶ 現在使用されているH液とFF-301を混合すると、十分な効果が得られません。
- ▶ 現在使用されているH液と、水上がり量が異なる場合がありますので、はじめに最低印刷給水量を確認してから、印刷を開始してください。
- ▶ UV減感インキにも乳化を防止するため効果的です。

#### 取扱上の注意

- ▶ 皮膚に触れた場合は、速やかに石鹸と水、または温水で洗い流してください。
- ▶ 目に入った場合は直ちに多量の水で約15分間洗眼し、速やかに医師の診断を受けてください。
- ▶ FF-301は、指定可燃物可燃性液体類に該当します。

2007/07/01 No.W-2

- ▶ 記載のデータは、当社の試験方法による実測値であり、規格値ではありません。ご使用に際しては、貴社使用条件に適合するかを必ずご確認ください。なお、本文中の用途はいかなる特許に抵触しないことを保証するものではありません。
- ▶ 製品改良のため、予告なく内容を変更することがあります。
- ▶ 製品使用の際は、必ず事前に製品安全データシート(MSDS)をご一読願います。